

「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」

感謝状授与式が開催されました

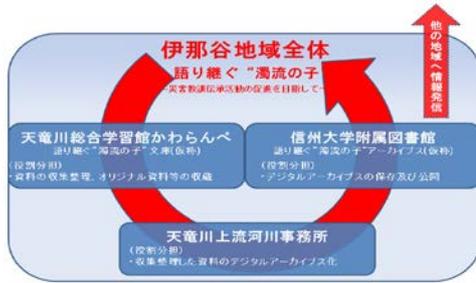
平成26年7月9日(水)

天竜川上流河川事務所作成

人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト選定委員会が推進する「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」において、信州大学附属図書館は電子書庫(「語り継ぐ“濁流の子”アーカイブス(仮称)」)の保存及び公開を担当しており、その初期整備費用や維持管理費用として、基金を創設し寄附金の公募を実施しています。

この都度、「濁流の子～伊那谷災害の記録～(出版物)」の編集に携わられた碓田榮一氏より寄附の表明があり、これに対し謝意を表するため、信州大学図書館から碓田榮一氏に対し、感謝状が授与されました。

語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト



「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」のイメージ

「濁流の子～伊那谷災害の記録～(出版物)」を災害教訓伝承活動の象徴的な存在として「人と暮らしの伊那谷遺産」に選定し、併せて災害を伝える書籍や写真などを収集・整理し、デジタルアーカイブス化する活動を進めています。

三六災害をまのあたりにした当時の小学生、中学生、らの作文を集めた文集。1964(昭和39年)に発行された。



感謝状の授与を受ける碓田榮一氏



記者からの質問応じる碓田榮一氏と笹本図書館長(信州大学副学長)